

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 30 年 4 月 24 日現在

機関番号：32641

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2014～2017

課題番号：26380216

研究課題名(和文) 現代日本における対中政策の形成過程 チャイナ・スクールの実像を求めて

研究課題名(英文) Japan's foreign policy making toward China: The real image of the China School

研究代表者

服部 龍二 (Hattori, Ryuji)

中央大学・総合政策学部・教授

研究者番号：80292712

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,500,000円

研究成果の概要(和文)：外交官らへのインタビューを行い、谷野作太郎/服部龍二・若月秀和・昇亜美子編『外交証言録 アジア外交 回顧と考察』(岩波書店、2015年)などとして刊行した。単著としては、拙著『外交ドキュメント 歴史認識』(岩波新書、2015年)などをまとめた。成果の一部は、服部龍二/沈丁心・騰越訳/郭連友校『大平正芳の外交与理念』(北京：中央編譯出版社、2017年)などとして外国語訳された。

研究成果の概要(英文)：I held interviews to diplomats and published them, such as Sakutarō Tanino (Iwanamishoten, 2015). As my works, I published several books and papers on Japan's foreign policy, for instance, Diplomatic Document on the History problems (Iwanamishinsho, 2015). Some of the works were translated into Chinese and Korean.

研究分野：日本政治外交史

キーワード：外交

1. 研究開始当初の背景

中国が第2位の経済大国になった現在、対中関係は外交・安全保障面でも世界的な関心事となっている。なかでも日中関係は、歴史認識や尖閣情勢をめぐって揺らぎがちであり、対中政策は政権交代における主要論点の1つともなった。社会的にも日中関係は重要な関心事となっているものの、メディアやジャーナリストによる分析が多く、学界はニーズに応え切れていない感がある。内外の文書公開は1980年代に及びつつあるが、研究者はまだ十分にフォローできずにいる。

現代日中関係の研究としては、石井明ほか編『記録と考証 日中国交正常化・日中平和友好条約締結交渉』(岩波書店、2003年)、王雪萍編著『戦後日中関係と廖承志 中国の知日派と対日政策』(慶應義塾大学出版会、2013年)などがあるものの、1970年代後半以降の実証研究は緒に就いたばかりである。本研究では、70年代末から80年代以降に実証を押し進めたい。

研究代表者は20数年来、日中関係を軸としながら、国際関係の研究を進めてきた。その成果は、拙著『東アジア国際環境の変動と日本外交 1918-1931』(有斐閣、2001年)、拙著『日中歴史認識——「田中上奏文」をめぐる相剋 1927-2010』(東京大学出版会、2010年)、拙著『日中国交正常化』(中公新書、2011年)、高原明生・服部龍二編『日中関係史 1972-2012 政治』(東京大学出版会、2012年 北京の社会科学文献出版社から翻訳刊行予定)などとして公表した。

伝記的研究としては、拙著『幣原喜重郎と二十世紀の日本——外交と民主主義』(有斐閣、2006年)、拙著『広田弘毅』(中公新書、2008年)、拙著『外政家としての大平正芳』(岩波書店、2014年)があり、そこでも対中関係に多くの記述を割いた。

2. 研究の目的

研究代表者これまで、政治家や外務官僚に

オーラル・ヒストリーを進めてきた。主な刊行物として、政治家や秘書については、森田一／服部龍二・昇亜美子・中島琢磨編『心の一燈 回想の大平正芳——その人と外交』(第一法規、2010年)、中曽根康弘／中島琢磨・服部龍二・昇亜美子・若月秀和・道下徳成・楠綾子・瀬川高央編『中曽根康弘が語る戦後日本外交』(新潮社、2012年)、朝賀昭／福永文夫・服部龍二・雨宮昭一・若月秀和編『最後の秘書が語る田中角栄』(第一法規、2014年)がある。

外務官僚に関しては、栗山尚一／中島琢磨・服部龍二・江藤名保子編『外交証言録 沖縄返還・日中国交正常化・日米「密約」』(岩波書店、2010年)、中江要介／若月秀和・神田豊隆・楠綾子・中島琢磨・昇亜美子・服部龍二編『アジア外交 動と静——元中国大使中江要介オーラルヒストリー』(蒼天社出版、2010年)、中島敏次郎／井上正也・中島琢磨・服部龍二編『外交証言録 日米安保・沖縄返還・天安門事件』(岩波書店、2012年)、折田正樹／服部龍二・白鳥潤一郎編『外交証言録 湾岸戦争・普天間問題・イラク戦争』(岩波書店、2013年)、長谷川和年／瀬川高央・服部龍二・若月秀和・加藤博章編『首相秘書官が語る中曽根外交の舞台裏』(朝日新聞出版、2014年)がある。

本研究では、実証とインタビューが不足してきたチャイナ・スクールに重点を置き、その実像に迫りたい。チャイナ・スクールに対する研究者の体系的オーラル・ヒストリーは、ほとんど存在しないというのが現状である。民主党と比較しながら、自民党の内部過程も分析する。

3. 研究の方法

いままでオーラル・ヒストリーの対象とされていなかった人物に焦点を当てる。具体的には、代表的なチャイナ・スクールである谷野作太郎、国連事務次長であった法眼晋作、田中角栄秘書であった朝賀昭などである。

また、外務省外交史料館では史料公開が進んでおり、近年では原本が本省から移管公開されるようになった。従来、多くの研究がマイクロフィルムや電子媒体での閲覧にとどまっていたため、マスキングや欠落の問題点があった。積極的に開示を申請し、日中関係の原文書を系統的に分析しい。すべての文書を精査することは難しいため、研究の最前線ともいべき1970年代末から1980年代の新規公開文書を集中的に調査しい。

政党については、長年、政権党であった自民党を軸とする。聞き取り、個人文書の調査に加えて、政党の内部過程、首相官邸と各省庁の相互関係を検討した。また、日本の対中政策は、国際環境によって左右されるところが少なくない。このため、諸外国の公文書から国際環境要因を探り、日中関係をめぐる国際環境の史的変遷を跡づけた。

対外的な発信としては、拙著『日中国交正常化 田中角栄、大平正芳、官僚たちの挑戦』(中公新書、2011年)を韓国語訳し、拙著『大平正芳 理念と外交』(岩波書店、2014年)を中国語訳するなど、研究成果を諸外国に向けて翻訳している。

4. 研究成果

外交官らへのインタビューを行い、谷野作太郎/服部龍二・若月秀和・昇亜美子編『外交証言録 アジア外交 回顧と考察』(岩波書店、2015年)、法眼健作/加藤博章・服部龍二・竹内桂・村上友章編『元国連事務次長 法眼健作回顧録』(吉田書店、2015年)、朝賀昭/福永文夫・服部龍二・雨宮昭一・若月秀和編『田中角栄 最後の秘書が語る情と智慧の政治家』(第一法規、2015年)としてまとめた。

また、編集や解説に当たったものとしては、國廣道彦/服部龍二・白鳥潤一郎解題『回想「経済大国」時代の日本外交 アメリカ・中国・インドネシア』(吉田書店、2016年)、栗山尚一/服部龍二編『戦後日本外交 軌跡

と課題』(岩波書店、2016年)がある。

これらを活かしながら、拙著『外交ドキュメント 歴史認識』(岩波新書、2015年)、拙著『田中角栄 昭和の光と闇』(講談社現代新書、2016年)などを刊行した。

外国語訳したものとしては、服部龍二/ソスンウォン・ファンヨン訳『中国と日本の握手 1972年国交正常化の真実』(ソウル: Youkrak、2017年)、服部龍二/沈丁心・騰越訳/郭連友校『大平正芳的外交与理念』(北京: 中央編譯出版社、2017年)、高原明生・服部龍二編『日中関係 40年史(1972~2012) 政治巻』(北京: 社会科学文献出版社、2014年)がある。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計6件)

服部龍二「栗山尚一元駐米大使著作目録」(『中央大学論集』第38号、2017年2月) 77-84頁 査読なし

服部龍二「田中首相・ヒース首相会談録 1972年9月18、19日」(『外交史料館報』第29号、2016年3月) 61-79頁 査読なし

服部龍二「中曽根康弘首相の外交思想 歴史認識を中心として」(『現代史研究』第11号、2015年3月) 67-79頁 査読なし

服部龍二「中曽根康弘首相・全斗煥大統領会談録 1983年1月」(『中央大学論集』第36号、2015年2月) 51-58頁 査読なし

服部龍二「田中首相・スハルト大統領会談録 1974年1月15日」(『外交史料館報』第28号、2014年12月) 59-70頁 査読なし

服部龍二「種稲秀司著『近代日本外交と「死活的利益」 第2次幣原外交と太平洋戦争への序曲』」(『国史学』第214号、2014年11月) 117-125頁 査読なし

[学会発表](計0件)

〔図書〕(計6件)

服部龍二『佐藤栄作 最長不倒政権への道』(朝日新聞出版、2017年)472頁

服部龍二『増補版 幣原喜重郎 外交と民主主義』(吉田書店、2017年)483頁

服部龍二『田中角栄 昭和の光と闇』(講談社現代新書、2016年)360頁

服部龍二『中曽根康弘 「大統領的首相」の軌跡』(中公新書、2015年)348頁

服部龍二『外交ドキュメント 歴史認識』(岩波新書、2015年)272頁

服部龍二『大平正芳 理念と外交』(岩波書店、2014年)296頁

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等
<http://ryujihattori.a.la9.jp/>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

服部 龍二 (HATTORI, Ryuji)
中央大学・総合政策学部・教授
研究者番号：80292712

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 連携研究者

()

研究者番号：

(4) 研究協力者

()